

子宮頸がんの原因は、女性の8割が一度はかかるありふれたウイルス（HPV：ヒトパピローマウイルス）です。

田原市では、HPVの検査を30歳～65歳の方を対象に、6月から実施する子宮頸がん検診に導入します。

今までの子宮頸がん検診にHPV検査を併用することで、非常に精度がよくなるため、子宮頸がんになる前に発見・治療ができるようになります。

子宮頸がん検診が変わります！

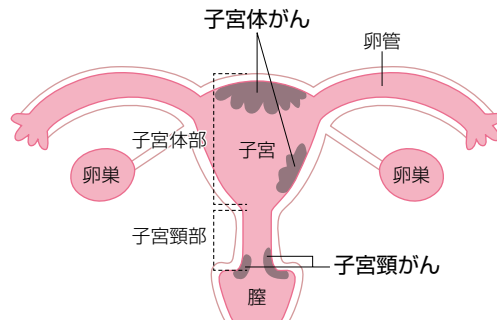
HPV検査が子宮頸がん検診と同時に受けられるようになり、子宮頸がんになる前に発見・治療が可能に

健康課 ☎23局3515

■子宮頸がん・体がんの特徴

がんの種類	部位	発症年齢	原因
子宮頸がん	子宮頸部（子宮の入り口）	主に30～40歳代（20～30歳代に急増中）	ヒトパピローマウイルス（HPV）
子宮体がん	子宮体部（子宮本体の内側）	主に50～60歳代（更年期～閉経後）	主にホルモンバランスの異常

■子宮の内面



◆子宮頸がんの初期は、自覚症状はほとんどありません。子宮頸がんは、子宮の入り口にできるがんです。

◆教えて夏目さん！

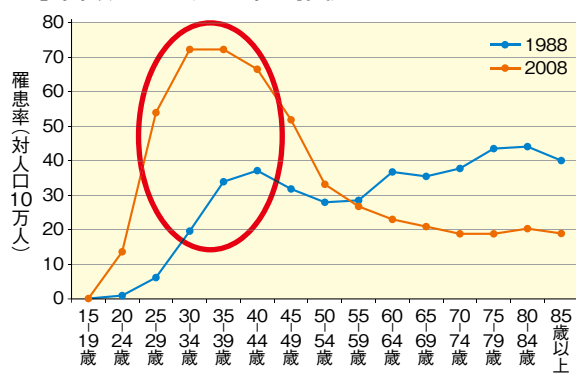
Q. どうやってHPVに感染しますか？

A. いくつかの感染経路があるといわれていますが、性交渉によって感染するケースがほとんどです。

Q. HPVに感染したらどうなるの？

A. ほとんどの人は2年以内に自身の免疫力で自然に排除されます。ごく一部の人は感染が長期化し、がんに行きます。がんになる前に発見すれば、簡単な治療で完治できます。その後は妊娠・出産を含め、いつもと変わらない生活を送ることができます。

■子宮頸がんの発生率の推移



◆20年間で2～3倍も増加
今、若い女性に子宮頸がんが増えています。

国立がんセンターがん対策情報センター 地域癌登録全国推計によるがん罹患データ(1998年～2008年)